



●「3時のあなた」に  
ありがとう

いつの頃か、畑に薄いピンクと白で花火の様なやさしい色の花が咲きました。植えた覚えはありません。小鳥が種を運んで来たのでしょうか？3ヶ所に咲き、何という名前の花なんだろうかと思っていました。

ある日、友達の家に行くと、庭に同じ花が咲いていたので尋ねてみました。花の名前は「3時のあなた」と言うのです。「えー、変わった名前だね！」と驚くと「ほら、今午後3時でしょ。3時に咲くから『3時のあなた』って言うのよ」と教えてくれました。初めて聞いた花の名前に本当に感動しました。ハゼラン（爆蘭）の別称だそうです。

やさしい色の花なので、我家では食卓に飾って楽しんでいます。知らないお花を運んで来てくれてありがとう。

(群馬県/K・K)



●長男にありがとう

高校に入学した長男が、校内の見学でボクシング部を見て、ボクシングに興味を持ち、背が小さくても出来ると思い、決めたようです。



私が「怖いからやめなさい」と言っても聞きません。中学は野球をやっていたのですが、背が伸びなくてチビと言われ、悔しい思いをしていたので、入部して1年、チビと言われ悔しかった事をバネにして頑張り、全国大会への出場が決まり、早朝から練習に励んでいます。

子供はどんどん成長しています。私は怪我がないよう体に気づかない、おいしいお弁当作りに生きがいを感じています。将来はボートのレーサーになるのが夢だそうです。負けないで頑張ってくれて、ありがとう。

(大田区/R・I)

●素敵なお庭にありがとう

通勤途中、ちよつと足を止めたくなるお宅があります。決して広くはないのですが、なぜかホッとすると、癒される、そんなお宅です。そこには小さなお庭があり、塀から季節の花が顔を出しています。



私はここのお宅のクチナシの花が大好きで、白い花が咲く頃にお宅に近付くと、甘い香りが風と共に漂います。朝の一時、思わず顔を上げて

鼻をピクピクさせるといい香りがし、気持ち晴れやかにしてから会社に急ぎます。今は赤いサルスベリの花が咲いています。前日の落ち込みを引きずり、朝を迎えましたが、赤いサルスベリを見上げると、お陽さまの光とサルスベリの花が心に温かく差し込み、今日も元気をいただきました。

住んでいる人の人柄を思わせるような、素敵なお庭の前を毎日通わせていただいております。ありがとう。

(大田区/N・T)



●抽選会にありがとう

通勤で利用する駅前が提灯ぼんぼりで飾られ、やぐらが組まれている。もう今年も夏祭りかと思いきや、なんと、「盆踊り大会大抽選会」とあり、豪華な景品が書いてあった。その中で折りたたみ自転車が目に入り、ほしいなと夢を描き、参加してみることになった。

日曜の夕方、駅前広場は模擬店が並び、大勢の人であふれていた。やぐらの周りを浴衣を着たおばさんたちが楽しそうに、東京音頭やきよしのズンドコ節を踊っている。



いよいよ太鼓が鳴り、大抽選会の始まりだ。受付でもらった抽選券に「当たれ！」と願をかけ、順番を待っていたが、豪華景

品は次々と持っていかれ、私が握りしめていた券は果物の巨峰へと変わった。自転車ではなく残念だったが、久しぶりに大はしゃぎして帰り、冷やしていただくとすこく甘くて美味しい巨峰だった。楽しい時間をありがとう。

(東京都/J・K)

●ラジオ体操にありがとう

夏休みに入り、小学1年生の娘と地域のラジオ体操に行こうとはりきっていましたが、初日から雨が続き、3日目にしてようやく晴れました。娘を起こして近所の公園に行くと、眠

そうな娘を見ておはさんが、「よく来たね。早起きできてえらいね」と褒めてくれました。受付でカードをいただき、6時半からラジオに合わせ、中学生とおじさんが前に出て、ラジオ体操第1、第2を10分ぐらいで終えます。参加者は子供が25人で50人以上は高齢者でした。みなさんともお元気で一生懸命。子供の参加が少し少なかったのが残念でしたが、娘と「早起きは気持ちがいいね」と笑いました。



最終日には、大人は洗剤、子供はノートの参加賞がいただけると聞いたので、最後までがんばろうねと気合を入れました。お世話をしてくれる人、地域のみなさんにありがとう。

(杉並区/M・H)

●ご先祖様にありがとう



お盆の支度をするため、いつものお店に行くとき、大勢の人が並んでいました。いつもよりアルバイトが出ていて対応しているにも関わらず、混んでいるなかなかならぬ感じがしました。列前の奥さんに話しかけます。「今日はすごいお客さんですね」「日頃仕事ばかりは日頃のお詫びも兼ねて、お盆ばかりは日頃のお詫びも兼ねて、真心でお飾りしようと思ひ、このお盆はきれいな盆花を作ってくださるので、毎年ここで買っています。立派なホウズキでしよう」順番が回って来て、必要なものを全部揃えました。夕方、そうめんとお供えし、お迎え火を焚き、生前、義母に教わった通りにご先祖様をお迎えしました。マンションが立ち並ぶ昨今、町並みも様変わりして、ご先祖様もわからないのではと思ひ、おがらを多めに焚くと馬に乗って急いでみえたように感じました。ご先祖様、日々ありがとうございます。(文京区/Y・S)

●姉と5本指ソックスに

ありがとう

姉が5本指のソックスをプレゼントしてくれた。私が愛用していることを知っていて、そして健康に良いということ、かわいいのを選んでくれた。足首はしめつけがなくとも履きやすい。私の足は22cmで小さい方だが、なぜか今まで履いていたソックスの足首はきつかったのが多い。この履きやすいソックスは模様もかわいらしく、赤い花や青い花が指先についている。

●みんなにありがとう



しかも藤色の地の指の付け根には、うさぎが3羽大きく付いている。姉は私から選んでくれたのだ。朝の身支度で、今日どのソックスを履こうかと思ひながら、このうさぎの付いた5本指を選んで楽しんでる。このうさぎにあやかって、ピョンピョン跳ねながら身軽に歩けたらいいなと思ひながら気分を上げていく。そんな気持ちにしてくれた姉の心配りの5本指にありがとう。(目黒区/H・O)

●みんなにありがとう



私はありがとうが言えないで、ずうっときた。やり方がわからなかった。生まれてから、話をすると言、暴力が加えられてくる。私には話すことは危険のサインだった。そんな私がいる人から温かさを分けてもらうことで「ありがとう」を言えるようになった。「ありがとうございます」を手に入れられたこと、みなさんに「ありがとうございます」で一杯です。(川崎市/M・K)

●シルバーパスよ、ありがとう

「シルバーパス」とは、東京都に在住する70歳以上のシニアが都バスや都内を走る私鉄バス、都電、都営地下鉄、日暮里・舎人ライナーを格安に利用できるパスである。70歳の誕生日を迎えると、年間2万5100円(扶養家族、税金を払っていない人は1万2

25円)でこのバスを買い利用する

ことができる。JRや私鉄や東京メトロの電車でも足りる人にはあまり利用価値がないが、私の場合は都営線、都営バス、私鉄バスを乗り継ぐと殆どすべての用が足りるので大変重宝している。シニアが進んで外出することに、寝たきりになったり「認知症」になったり、要介護に入る時期を少しでも遅らせ、減らし、その結果、高額な老人医療費が減るようにと導入されたのがこの「シルバーパス」である。そのせいか昼間の電車やバスは殆どシニア層で一杯である。目前に迫るわが国の「超高齢化社会」を日毎に痛感する機会でもある。

それ以外の行く先は病院、デパート、観劇、音楽会、博物館、美術館、都内観光等々様々であり、実に多くの人々が活用している。バス停などで見知らぬ者同士で時の話題に話が弾むこともしばしばである。又、このバスを有効に使うべく時間をかけて迂回する人も多い。新しい路線を見つけた時など嬉しくなつて誰かに話したくなる程だ。初めて乗る路線の車窓から流れゆく東京の街並みを眺めるのも楽しみである。時間にゆとりのあるシニア達が沢山街中に出て、美味しいものを食べ、行きたいところに行き、会いたい人に会うのは、ひいては東京を元気にする源だと思ひ、東京が元気になれば日本も元気になろうというものである。



「シルバーパスよ、ありがとう」と言いたいの、きつと私だけではない。(品川区/A・N)

【携帯Deショット】

梅雨が明け、灼熱の太陽の下に咲く『むくげ(木槿)』は、街路樹や公園の隅に彩りながら見守る花です。背の低いアオイの異名もある。【花言葉】信念、新しい美



●携帯電話の方はQRコードから →→→
●パソコンの方は下記のURLから ↓
http://1039.seesaa.net/
●メールでのご投稿は…
info@arigatou-mail.com
【編集・企画】株式会社ありがとう・不動産 編集部
●株ありがとう・不動産HP http://www.arigatou-1039.com/



【原稿をお待ちしています。】

本誌は北海道から沖縄までの友人知人から寄せた「ありがとう」のこぼれに因んだ思ひ出を、写真、詩、俳句、短歌、短文、絵画などを掲載します。作品は編集部まで送ってください。投稿いただいた方には、ささやかではありますが、オリジナル「ありがとうメガネ拭き」をプレゼントさせていただきます。皆様からのご投稿をお待ちしております。また、ご自分のお名前や事業所名を刷り込んで、身近な方やお客へ配布されては、いかがでしょうか。

編集へのご意見やご提案がございましたら是非ともお聞かせください。

